



目標—指導—評価の一体化のための学習評価



小学校特別活動のポイント



小学校特別活動について、「各学校で定める評価の観点」及び「内容のまとめり」の考え方を踏まえた評価規準の作成から、評価の総括までの一連の流れを、高学年の「学級活動(1)学級や学校における生活づくりへの参画」の事例を中心に説明します。



I 「評価の観点」とその趣旨、「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する流れ

[Step1] 学習指導要領の「特別活動の目標」と改善等通知(H31.3.29 初等中等教育局長通知「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について」)を確認します。

[Step2] 学習指導要領の「特別活動の目標」と自校の実態を踏まえ、改善等通知の例示を参考に、特別活動の「評価の観点」とその趣旨を設定します。

[事例] オーソドックスな「評価の観点」とその趣旨の設定例

評価の観点	よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
その趣旨	多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、活動を行う上で必要となることについて理解している。 自己の生活の充実・向上や自分らしい生き方の実現に必要なことについて理解している。 よりよい生活を築くための話し合い活動の進め方、合意形成の図り方などの技能を身に付けている。	所属する様々な集団や自己の生活の充実・向上のため、問題を発見し、解決方法について考え、話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりして実践している。	生活や社会、人間関係をよりよく築くために、自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践しようとしている。 主体的に自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとしている。

[別例] “社会参画”に重点化を図った「評価の観点」とその趣旨の設定例

評価の観点	多様な他者と協働するために必要な知識・技能	集団や社会をよりよくするための思考・判断・表現	主体的に集団活動や生活をよりよくしようとする態度
その趣旨	学級・学校生活の充実のために主体的に参画することの意義や、そのための話し合いの手順を理解している。 学級会等における合意形成の図り方などの技能を身に付けている。	学級・学校生活の充実・向上のために課題を考え、話し合い、集団としての解決方法を、合意形成を図って決定したり、自分の実践目標を意思決定したりしている。	学級・学校の生活の改善・充実を図るために、多様な他者のよさを生かし、協働して実践しようとしている。 なりたい自分を目指し、これまでの自分を振り返り、これからの集団活動や生活に生かそうとしている。

[Step3] 学習指導要領の「各活動・学校行事の目標」及び学習指導要領解説に例示された「各活動・学校行事における育成を目指す資質・能力」を参考に、各学校において育成を目指す資質・能力を重点化して設定します。

[Step4] 「内容のまとめりごとの評価規準」を作成します。

特別活動の「内容のまとめり」

- 1 学級活動(1) 学級や学校における生活づくりへの参画
- 2 学級活動(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
- 3 学級活動(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現
- 4 児童会活動
- 5 クラブ活動
- 6 学校行事(1) 儀式的行事
- 7 学校行事(2) 文化的行事
- 8 学校行事(3) 健康安全・体育的行事
- 9 学校行事(4) 遠足・集団宿泊的行事
- 10 学校行事(5) 勤労生産・奉仕的行事

Point!



観点ごとの評価規準作成のポイント

- 1 知識・技能
 - ・話し合いや実践活動における意義の理解や基本的な知識・技能の習得として捉えます。
 - ・文末は「理解している」「身に付けている」。
- 2 思考・判断・表現
 - ・習得した基本的な知識・技能を活用して課題を解決することと捉えます。
 - ・文末は「している」。
- 3 主体的に学習に取り組む態度
 - ・自己のよさや可能性を発揮しながら、主体的に取り組もうとする態度として捉えます。
 - ・文末は「しようとしている」。

※学級活動(1)(2)(3)については、発達段階に応じて、低・中・高学年ごとに評価規準を作成することが考えられます。その他は全学年共通。

〔事例〕「学級活動(1)学級や学校における生活づくりへの参画」の評価規準の例(第5学年及び第6学年)

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
○みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 ○合意形成の手順や深まりのある話合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。	○楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合って実践している。	○楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。

〔別例〕「学校行事(2)文化的行事」の評価規準の例

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
○文化的行事の意義や日ごろの学習成果を発表する方法、鑑賞の仕方について理解し、互いに発表したり、鑑賞し合ったりする活動に必要な知識や技能、マナーなどを身に付けている。	○学校や学年の一員として、楽しく豊かな学校生活にするために、多様な文化や芸術について、自他のよさについて考えたり、学習の成果を発表し合ったりして、互いのよさを認め合いながら実践している。	○多様な文化や芸術に親しむとともに、自他のよさを見付け合い、自己を伸長し、見通しをもったり振り返ったりしながら、文化的行事に積極的に取り組もうとしている。

II 指導と評価の計画を立てる

1 学級活動(1)で育成を目指す資質・能力

- 学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けるようにする。
- 学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができるようにする。
- 生活上の諸問題の解決や、協働し実践する活動を通して身に付けたことを生かし、学級や学校における人間関係をよりよく形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。

学習指導要領解説に例示された、「学級活動(1)において育成を目指す資質・能力」を参考に、各学校において設定します。



2 学級活動(1)の第5学年及び第6学年の評価規準 (※本ページ上部の〔事例〕のとおり)

3 指導と評価の計画 ※第5学年 学級活動(1) 議題「がんばったね集会をしよう」を例に

(1) 事前の活動

日時	児童の活動	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
○月○日() 業間休み	・提案ポストの議題案を確認し、選定する。 (計画委員会)	◎「がんばったね集会」への見通しをもち、意欲的に取り組もうとしている。 【主体的態度】 〈学級会ノート〉 ◎友達のがんばりを認め合うことができる集会の内容を学級会ノートに書いている。 【思考・判断・表現】 〈観察・学級会ノート〉
○月○日() 帰りの会	・議題を決定する。 (学級全員)	
○月○日() 昼休みなど	・活動計画を作成する。(提案理由、話合いのめあて、話し合うこと、決まっていること等を確認する) ・学級会の進行の仕方を確認する。 ・学級活動コーナーに掲示する。 (計画委員会)	
○月○日() 帰りの会	・学級会ノートに自分の考えを記入する。 (学級全員)	
○月○日() 昼休み	・学級会ノートに目を通し、書かれた意見を整理する。 (計画委員会)	

(2) 本時の展開

- ①本時のねらい 1年間の互いのがんばりを認め合う楽しい「がんばったね集会」をするために、集会の内容を考えることができるようにする。

②教師の指導計画

話合いの順序	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
1 はじめの言葉 2 計画委員の自己紹介 3 議題の確認 4 提案理由や話合いのめあての確認 5 決まっていることの確認	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてをもって自分の役割に臨むことができるようにする。 ・提案者の思いや願いを全員が理解し、学級全員の問題であることを確認する。 <p>話合いのめあて 「がんばったことを振り返ることができる集会の内容と工夫を考えよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決まっていることを確認する。 <ol style="list-style-type: none"> ①日時：○月○日○時間目 ②場所：教室 ③内容：ゲームで1つ、それ以外で1つ 	
6 話合い (1) 話し合うこと1 「何をするか。」 (2) 話し合うこと2 「がんばりを認め合う工夫はどうするか。」 (3) 話し合うこと3 「どんな係が必要か。」	<ul style="list-style-type: none"> ・司会が進行に困った時は方向性を示唆し、児童の合意形成を方向付ける助言はしない。 ・自治的活動の範囲を超えそうな場合は、適切に助言する。 ・必要に応じて、自分の意見に固執せず、納得した上で考えを変えるなど、折り合いをつけて合意形成を図ることの大切さについて助言する。 ・これまでの集会の経験をもとに、必要な係については事前に短冊を用意しておき、今回新たに必要な係について話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎これまでの集会活動の経験を生かしたり、友達の意見のよさを生かしたりして、「がんばったね集会」の内容や工夫について考えている。 ◎みんなでがんばったことを認め合う内容はどれがよいか、根拠を明確にしながら発言したり、友達の意見と比べて聞いたりしている。 <p>【思考・判断・表現】 〈発言・観察〉</p>
7 決まったことの発表 8 話合いの振り返り 9 先生の話 10 おわりの言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・よかった点や課題について自己評価し、友達のよかった点などについて相互評価できるように助言する。 ・終末の助言では、「①前回の話合いと比べてよかった点、合意形成したことへの価値付けや賞賛、②今後の課題、③計画委員へのねぎらい、④今後の見通しや実践に向けての意欲付け等」について簡潔に述べる。 ・提案理由を意識した発言や建設的な発言、意欲的に参加していた児童を賞賛する。 ・実践への見通しをもち、意欲が高まるように言葉がけを行う。 	<div style="border: 1px solid pink; border-radius: 50%; padding: 10px; background-color: #fff9e6;"> <p>十分満足できる活動の状況を的確に見取るため、具体的な児童の姿をいくつか想定して記述します。</p> </div>

(3) 事後の活動

日時	児童の活動	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
○月○日() 帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> ・決まったことを学級活動コーナーに掲示する。 ・役割分担が決まっていなければ、係の分担をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎「がんばったね集会」のめあてを意識して、友達と協力して取り組んでいる。 <p>【思考・判断・表現】〈学級会ノート〉</p>
○月○日() ～○日() 休み時間等	<ul style="list-style-type: none"> ・係ごとに計画を立てて、協力して準備をする。 ・帰りの会などで、係ごとに経過報告を行ったり、お知らせを伝えたりする。 	
○月○日() ○時間目	<ul style="list-style-type: none"> ・「がんばったね集会」を行う。 	
○月○日()	<ul style="list-style-type: none"> ・一連の活動を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎「がんばったね集会」の成果と課題を振り返り、自他のがんばりに気付いたり、次の活動に生かそうとしたりしている。 <p>【主体的態度】〈学級会ノート・観察〉</p>

Ⅲ 観点別学習状況の評価

※第5学年 学級活動(1) 議題「がんばったね集会をしよう」を例に

Point!

※学級活動(1)の評価については、話し合いのめあてや提案理由に沿って考え発表し合っているかなど、児童の活動の様子を観察して見取ることが中心となりますが、学級会ノートの記述も評価の参考にすることができます。話し合い活動だけでなく、一連の活動の振り返りを行うことで、児童自身の成長の実感や新たな課題の発見につなげることができます。



(資料①) 学級会ノート(表)

第12回 学級会ノート		0月 0日() 0校時
5年 2組 番 名前 000 000		
議題	5年生ががんばったね集会をしよう	
提案理由	5年2組のみんなが4月からがんばっていました。毎朝の朝の挨拶をみんなが認める会から集会をするので5年生のみんなががんばる(がんばる)からがんばる会をしようという気持ちになると思って提案しました。	
決まっていること	日時... 月 日 時間目 場所... 教室 ゲームは1つそれ以外1つ。	
司会グループ	司会	書記記録 ノート記録
話し合うこと	自分の意見 (理由もしっかり書こう)	
(1) 何をやるか。	<p>【意見】 思い出する</p> <p>【理由】 すぐのマスに5年2組ががんばってきたことを書くといふ思ふから。</p>	
(2) がんばったねの認め合いの大会はいつやるか。	<p>【意見】 音楽会で歌った曲を歌う</p> <p>【理由】 音楽会に向けてたくさん練習した思い出の曲をみんなが歌えば、みんなのがんばりを思い出せることができるから。</p>	
(3) 誰が役割が必要か。	<p>【意見】 プログラム係</p> <p>【理由】 前もってプログラムを作って掲示してみんなのワクワク感を高めたいから。</p>	
★提案理由や話し合いのめあてによって、話し合うことができましたか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>
★友達の見解のよいところを考えながら聞くことができましたか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>
★自分の意見を述べて発表できましたか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>
★決まったことや自分がこれなら何をしたらよいか分りましたか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>
★がんばり認め合う工夫について考え、みんなで決めることができましたか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>
★今日の話し合いをふり返って	<p>提案理由をきいて話し合うことができました。みんなの思い出のマスに記入するといふという意見のよいところを合わせて、みんなが納得するまで決めて決めることができましたのでよかったです。</p> <p>★決まったことや自分の役割について、これからがんばりたいことプログラム係になったので協力してプログラムを作りたいです。みんなが思い出するところを楽しんでさらにみんなが仲良くなりたいです。</p>	

【知識・技能】
提案理由の「がんばりを認め合う」という活動の意義を理解し、その達成のために意見を考えている様子から、十分満足できる活動の状況であると考えられる。

話し合い活動の振り返りとして、3段階で振り返ることで、児童自身の自己評価の力を高めたり、【思考・判断・表現】の評価の参考にしたりする。

【思考・判断・表現】
解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図ろうとしている様子から、十分満足できる活動の状況であると考えられる。

(資料②) 実践の見直し・振り返り(裏)

【5年生がんばったね集会】

自分のめあて

日付 0月 0日()
名前 000 000

友達のめあては、たこをたくさん見つけてもど仲よくなりたいです。

活動をふりかえりましょう

- 提案理由を意識して集会ができましたか。
- 自分のめあてに向けてがんばりましたか。
- 自分の役割に責任をもって取り組むことができましたか。
- 友達と協力して、楽しく活動することができましたか。

集会では1年間がんばってきたことを、すぐやくワイフなどを楽しみながら振り返ることができました。たこをとおしてなつかしい出来事や忘れていた学習内容を思い出さなくてよかったです。思い出ふりかえりタイムではみんなの心にのこるできごとを聞くことができました。色々なできごとを通して成長してきたんだと思います。自分のめあてを振り返ってプログラムを早く作ることで、早くめあてを書いた三賞状も作りました。大切なやりとり4人で協力できた。みんながどよもやで達成感を感じました。進級してみんなと協力してがんばりたいです。

【主体的態度】
自他の取組や実践を振り返り、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして取り組もうとしている様子や友達と協力して準備や活動に取り組んでいる様子から、十分満足できる活動の状況であると考えられる。

Ⅳ 観点別学習状況の評価の総括

Point!

※内容のまとめりと、児童の様子を観察したり記述を参考にしたりしながら、機会を捉えて評価したものを、評価補助簿(学期や年間を通して一覧で見ることができるようにしたもの)に記録しておくことが考えられます。



※学級活動(1)の補助簿の例

No.	氏名	知・技	思・判・表	主体的態度	メモ	総括
1	AA AA	○	○	○○	7/16 集会の準備を休み時間に一生懸命行い、全員分のメダルをつくっていた。	○
2	BB BB	○	○	○	9/17 学級会では、みんなが納得するアイデアを改善策として発表していた。	○
3	CC CC				「○」やメモがない児童については、よさを積極的に見取るため、機会を捉え重点的に評価したり、課題を把握して個別の指導を図ったりして、評価を指導に生かすことが重要です。	
4	DD DD			○		
5	EE EE	○○	○○○	○○		6/15 準備したりクイズを考えたりと主体的に活動し、みんなを楽しませた。 9/17 司会を務め、出された意見を生かして合意形成を図ろうとしていた。

Point!

※児童指導要録には、学級活動(1)(2)(3)のそれぞれの実践をもとにした評価を総合的に判断して、学級活動として十分に満足できる活動の状況であると判断できる児童に「○」を付けます。学校行事も同様。
※児童会活動及びクラブ活動については、観点別学習状況の評価の総括を児童指導要録に記載します。
※児童会活動、クラブ活動及び学校行事においては、学級担任以外の教師が担当する場面も多いため、評価に必要な資料の収集や教師間の情報交換等、評価体制を確立し指導に生かすことが求められます。

